

はじめに

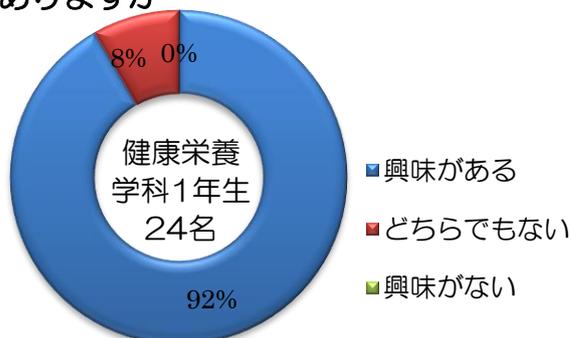


島根県の代表的な郷土料理・家庭料理と言えれば何を思い浮かべますか。しじみ汁、アカムツ（のどぐろ）の煮つけ、さざえ飯など、地元で育まれた食材を用いた多くの料理があります。では、これらの料理を作ることができますか、という問いではどうでしょう。対象学生は、手間がかかり作るのが難しそう、普段何気なく食べていて郷土の家庭料理かどうか気付かないなどの意見をあげました。さつま芋のつつきぼたやくじらご飯、バイ貝の串焼きはほぼ全員がその料理を知らず、もちろん作ったことがある人はいません。また、のっぺい汁や焼き鯖寿司、いか飯、かに汁は約半数が食べたことがあると回答した一方で、作ったことがある人は2割に達しませんでした。約8割の学生が作ったことがあるのはさつま芋の天ぷらとしじみ汁でした。さつま芋の天ぷらとしじみ汁は授業で作ったことが要因としてあります。本学教員が行った別の調査では、しじみの味噌汁は60歳代から70歳代は8割以上の方が作ったことあると回答した一方で、20歳代で約半数が作ったことがないという結果も得ています。

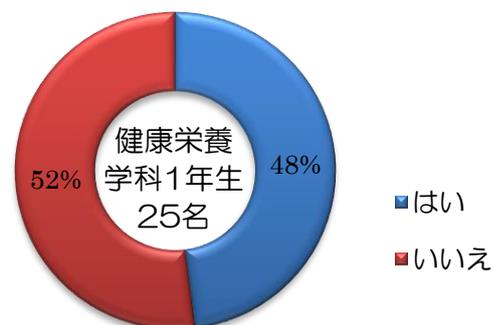
このように、特に若い世代において調理経験が少なく、このままでは次世代に伝承されない懸念があります。本年度は、第3次食育推進基本計画に掲げられている「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす」という目標をふまえ、島根県7圏域の郷土料理・家庭料理を料理の背景と共に教わり、各地域の文化や伝統も伝承することを目的としました。

対象学生の家庭料理や郷土料理に対する事前意識について、次に示します。

各地域の家庭料理や郷土料理に興味はありますか

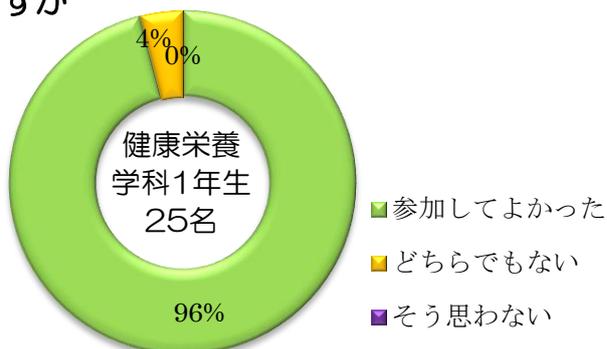


これまでに各地域の家庭料理や郷土料理を学ぶ機会がありましたか

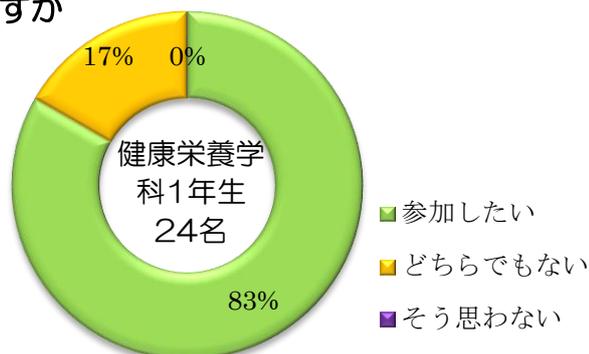


9割の学生が各地域の家庭料理や郷土料理に興味があると回答する中、約半数がこれまでに学ぶ機会が無かったと回答しています。また、実施後の意識調査結果は次の通りでした。

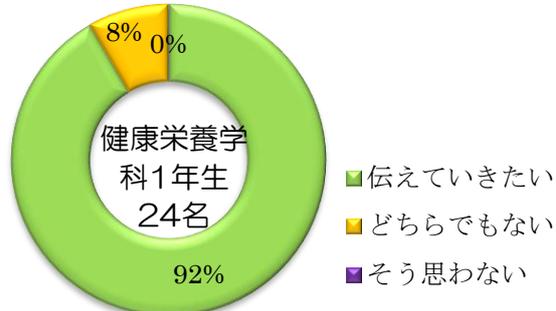
このイベントに参加してよかったですか



このようなイベントにまた参加したいですか



今後各地域の家庭料理や郷土料理を次世代に伝えていきたいですか



栄養を学ぶ学生ということもありますが、8割以上が前向きな回答をし、特に次世代に伝えていきたい学生は9割を超え、第3次食育推進基本計画の目標に沿った心強い結果であると言えます。学生たちが今後の食育の情報発信に貢献することを願います。